

令和2年度 東区 特色ある区づくり予算(区役所企画事業) 自治協議会委員からの提案(要旨)

No.	提案委員	事業名	内容	目的・趣旨	区役所検討結果(案)	説明部会
1	長谷川 徳昭 (第1部会)	じゅんさい池 自然環境保全事業	<ul style="list-style-type: none"> ・繁茂しすぎた外来植物の睡蓮の除去を行い水質の改善を図る ・外来種のみシシッピアカミミガメ、クサガメの駆除を図る ・子どもたちに身近な自然環境を提供し、小学校の環境学習の場とする ・新潟市内に存在する砂丘湖は、”じゅんさい池”と”北山池”の2か所であると考えられている。じゅんさい池は現在地下水の確実な湧水は確認されておらず、地下水位、流量、地質等の調査が今後必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・残っている園芸睡蓮を出来るだけ刈り取り、公園の名前の由来である「じゅんさい」の復活を目指す。 ・外来種であるみシシッピアカミミガメ、クサガメの駆除を図り、生物多様性の確保を目指す。 ・誰もが気軽に立ち寄れる憩いの場の創設を図り、まちづくりの一環とする。 ・環境保全を行うことにより、市街地に残された貴重な自然公園としてのじゅんさい池を市民等の交流の場とすることで、地域のつながり、ふれあいを通じて顔の見えるまちづくりに貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区づくり事業として新たに「じゅんさい池みらいプロジェクト」として取り組みます。 ・委託業者の技術指導及び作業補助のもとで、民(地元コミ協、自治会など)との協働で葦・園芸スイレン刈り取り作業を実施するとともに外来種のみシシッピアカミミガメ除去を図ります。 ・小学校の環境学習は従来から地元コミ協が主催になり継続しており、形ができてきていることから今まで通りとします。 ・建設課で、定期的に市の衛生環境研究所にて水質検査を継続していきます。 ・じゅんさい池の環境保全や活用方法、地域との役割分担等について検討をしていきます。 	第1部会
2	山田 久美子 田中 一昭 (第2部会)	中学生とのふれあい 体験事業(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ・会場は寺山公園の集客力と来場年齢層の幅広さから同公園(い〜てらす)を希望。(世代間交流が容易) ・時期は2019年4月〜5月に行われた「寺山こい来いフェスタ」が次年度も同様にあるのであれば、その中の1日を使わせていただきたい。(実際2019年は地元の木戸中学校生徒会によるイベントがあったと記憶しています)木戸中生徒会とコラボレーションできれば、より盛り上がるイベントとなる。 ・東区内中学校文化部に参加を打診、参加表明していただいた文化部のみなさんより無料体験コーナーを設置・運営していただく。テントなど必要備品は業者委託とする。 ・東区内中学校への連絡調整は自治協議会第2部会が適当と考える。 ・参加人員2,200名(中学生200名 来場者2,000名) 	<ul style="list-style-type: none"> 単に中学校文化部の成果発表の場にするのではなく、世代間交流が同時に行える状況を作り、その活動が地域貢献活動に繋がることが重要。 生徒たちは目標設定と達成感、自己肯定感の向上につながる成長の場となり、小さな子どもたちは中学校のお姉さんやお兄さんとふれあうことで自分が成長していく良いイメージを抱くことができる。 親世代やおじいちゃんおばあちゃん世代も一緒に楽しく過ごせることで健康長寿が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同様の取り組みを実施している「区民ふれあい祭」の主催者である地域コミュニティ協議会と協議した結果、来年度は「寺山こい来いフェスタ」など、寺山公園やい〜てらすで行われるイベントの中で、東区内中学校文化部や公共的団体などの活動紹介等を実施することとしました。 ・区づくり事業の「東区まんなか文化プロジェクト」で予算計上し、実施にあたっては「区民のこいのぼりプロジェクトin寺山公園」と連携して取り組んでいきます。 	第2部会

No.	提案委員	事業名	内 容	目的・趣旨	区役所検討結果(案)	説明部会
3	菊谷 きぬ子 (第3部会)	”東区自慢” 工場夜景ツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年に作成したカレンダー, 又は写真コンテストの中から工場夜景等の大型写真パネルを作成し, 区の要所に掲示。 (空港, 山の下埠頭, JR大形駅, JR石山駅, 東区役所等) ・月1回工場夜景ツアーの実施(12回) (日程・コース) 午後発～工場見学(12回とも違うところ)～夕食(東区内の可能なお店)～工場夜景観賞～終了 ・募集は年間予約とし, 欠員の場合はその都度補充募集を行う ・1回20名程度の募集 ・参加料はあまり高くしない 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界に誇る高い技術を持つ工業のより一層の周知を図る。 ・人々の交流を通し, 工業の魅力と誇りを感じてもらい東区全体への愛着と活気を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の見学先のほか新規の工場見学や体験活動を取り入れた工場夜景バスツアーを見学先と調整しながらできるだけ多く実施するとともに, 区外の方からも参加していただけるよう一層の周知と魅力の向上を図っていきます。 ・今年度募集している「産業・観光フォトコンテスト」の入賞作品を南口エントランスほか区外でも展示していきます。 	第3部会
4	雪井 美由希 (第1部会)	(仮称)商店街 活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・東区内の商店街の空き店舗等を拠点にイベントやコミュニティを展開。 ・フリーペーパーやwebで情報発信する媒体を作る。 ・学生や若者(20～30代)を巻き込む。 ・事業開始時期:7・8月頃より (歴史浪漫プロジェクトを拡張させたものでもよい) ・初年度は先行事例の視察を実施 (参考事例:長野県塩尻市・大門商店街, 愛知県瀬戸市・銀座通り商店街) 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある商店街による東区のにぎわい創出。 ・車での移動が難しいシニア, 母子のほか, 地元のヤングファミリーや学生等も楽しめる街づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史浪漫プロジェクトの中で商店街活性化に資する取り組みを商店街関係者等と協議しながら検討・実施する予定です。 ・商店街の空き店舗活用やにぎわいの創出, 既存店の魅力向上といった商店街の活性化を支援する市の補助制度についての周知を行っていきます。 	第3部会
5	野村 修一 (第3部会)	基幹道路愛称・ 通称の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・新規愛称の制定 ・新規制定のための基礎調査・検討 ・愛称(既存のものも含む)表示板の制作・設置 (直轄国道を範囲に含める場合は国道事務所と協議) 	東区内の骨格となっている道路の位置や, 東区内の起終点又は経由地をわかりやすく伝えるのに資する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市では, 道路愛称選考委員会の組織及び運営に関する事項を定めた「新潟市道路愛称選考委員会設置要綱」が施行されております。東区でも平成23年度に中央区馬越交差点から東区上木戸4丁目までの区間の道路完成に伴い公募で「笹木戸線」とした経緯があります。 ・道路愛称の制定については, 地元から具体的な路線について要望があった際に検討していきたいと考えています。 	第3部会